



栄小学校だより

令和3年12月23日(木) No.32

○2学期が終わりました。

12月23日(木)、全校児童が参加して体育館にて、「2学期終業式」を行いました。令和3年2学期は、緊急事態宣言が発令され、夏休み授業日も含め、9月中旬まで休校措置を取らざるを得ない状況でした。その後、分散登校や chromebook を使用してのオンライン授業などを経て、ようやく9月後半から学校生活が本格的に始まりました。学年別の運動会、修学旅行・社会見学、授業参観、学校保健委員会、その他さまざまな行事を10月～12月に詰め込み忙しい日々を送ってまいりました。子どもたちはこのような状況の中でも、明るく元気に学びあい、成長しています。

ぜひ、年末年始の慌ただしい時期ではありますが、各ご家庭で冬休みには、お渡しした「あゆみ」などを参考に2学期の反省と3学期に向けての目標等をじっくり時間をかけて話し合ってくださいと思います。

最後になりましたが、保護者並びに地域の皆様の日々のご支援、ご協力を感謝します。今後もよろしく願いいたします。

【2学期終業式の内容】

- ・ドラえもん募金(共同募金)贈呈式
- ・校長の話(2学期の反省と3学期に向けて)、
- ・生活の話(冬休みの生活について)
- ・表彰

【2学期行事の思い出】



修学旅行(6年)



4校交流学习(5年)



社会見学(4年)



公民館訪問(3年)



地域探検(2年)



運動会(1年)

○学校運営協議会を開催しました

12月17日(金)に、第5回学校運営協議会を開催しました。今回は、委員長のあいさつの後、校長から学校の近況報告並びに質疑応答を行いました。

その後、協議事項として、①児童アンケート、保護者アンケートについて ②ノーメディア運動について ③学校評価(学校関係者評価)について 提案をしました。

各委員より、忌憚のない様々のご意見を頂戴しました。

次回、2月18日(金)が今年度最終となります。よろしくお願いいたします。

【今後の予定】

12月24日(金) 冬季休業日(～1月10日)

1月11日(火) 3学期始業式 午前授業 11:30 下校

12日(水) 午前授業 地区別児童会(帰りは通学団での一斉下校となります。11:30)

13日(木) 給食開始

14日(金) PTA 役員会

17日(月) 校区連携あいさつ運動 委員会活動

19日(水) 天栄中新入生説明会

21日(金) スクールカウンセラー来校<要予約>

22日(土) 土曜授業 天栄中校区交流会(6年)<1年～5年は休みです。>

26日(水) 授業参観(13:15～14:00)

27日(木) キャリア教育講座6年

2月 8日(火) 新入児保護者会・学用品販売

16日(水)～24日(木) ノーメディア週間

18日(金) 学校運営協議会

25日(金) 6年生を送る会

3月18日(金) 卒業式

23日(水) 給食終了

25日(金) 修了式

※12月29日～1月4日の間は、「学校閉校」とします。ご了承ください。

☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.11

○最近言われている「教育改革」って何？

学校の授業も「教える」から「学ぶ」、そして「学び合いへ」

教育改革の下、大学入試のみならず、高校や中学の入試にも変化が表れています。

従来のような暗記したものを答案用紙に再生させる問題だけでなく、日常生活の場面で課題を見つけて答えていくという問題が増えているのです。つまり、正解が一つではなく、自分の考えが問われるものが多く出題されるようになりました。単に「暗記」ではなく「考え答える」力が必要となってきているのです。

新学習指導要領に基づく授業は、まずそのスタイルが保護者世代とは大きく異なっています。昔は先生が黒板に書いたものを子どもが書き取るという一斉講義型の授業が主流でしたが、今は先生の役割はファシリテーター(授業の進行役)。子どもたちが主役になって子どもたち同士で学びます。子どもたち同士で意見交換したり、グループで話し合ったりして考えをアップグレードさせながら、みんなで意見をまとめ発表する。

子どもたちは、話し合いにも意見をまとめ発表する際にも端末を活用します。

家庭でできる入試対策

新しい学力を伸ばすために保護者ができることは何でしょうか。

「身近な話題について、子どもと対話すること」だと思います。

“私はこう思うけれど、あなたは思う？”と尋ねるという要領です。

このとき注意したいのが、子どもの意見を否定しないこと。

議論ではなく対話です。相手を言い負かそうとせず、“なるほど、そういう考えもあるね”と受け止めること。すると、子どもは話しやすくなり、自分の意見を語ることは恥ずかしいことではないし否定されるものではないと思うようになる。考える訓練にもなり、また意見をまとめるには知識が足りないことに気づき、自分から調べて知識を吸収する習慣にもつながります。

テーマ選びのポイントは、“保護者も正解が分からないこと”

そのほうが子どもとの対話が活性化します。保護者が身近な事柄の中に疑問を見つけ、お子さんを対話に引き込むことが、一番の入試対策だと思います。

親子で本、新聞、テレビ、動画を見ながらでも構いません。冬休みのこの時期に、さっそく始めてみてはいかがでしょうか。

正解のない話を
議論する。